

◇四大学現代 GP プロジェクトチーム 公開シンポジウム

地域と響きあう農業・農学教育の新展開

—現代 GP 地域貢献分野における大学の取組みと農学教育—

●と き：平成 18 年 8 月 8 日(火)13:10～16:00

●場 所：茨城大学農学部 講義棟



農学教育分野での地域連携を対象として現代的教育ニーズ取組支援プログラムに取り組む、秋田県立大学短期大学部、岐阜大学、筑波大学、および茨城大学の四大学現代 GP プロジェクトチームが主催し、標記のシンポジウムを開催致しました。

「地域と響きあう農業・農学教育の新展開」のシンポジウムの実施により、四つの大学が個々に取り組むテーマの独自性が明らかになるとともに、共通する問題を見出すことができました。また、農業および地域の活性化、伝統文化の継承・保全、遺伝資源や環境保全、および耕作放棄地の再生などの地域の問題に農学部はどのように取り組むべきか、など実践的な議論ができました。



参加者からは「農学部は応用科学を取り扱っているので、それらの研究成果や学生教育を積極的に地域活動に還元し、地域問題の解決に貢献してほしい」といった要望などや今後の取り組みに参考となる意見が多かったです。

全体の感想として、参加者からは「大学と地域住民、行政、大学との関わりの中で、地域が活性化していく様々な取り組み事例が聞けてよかった」、「地域という一つの問題に対して四つの大学でとり組み方は少しずつ違っていたので、解決方法の一つではないことがわかった」という意見があり、さらに「現代 GP が終わったら後の活動はどのように進めるのか」という地域貢献活動の継続を望む率直な意見もありました。



今回のシンポジウムでは、主として地域貢献における農学教育の課題と問題点の整理を行いました。それぞれの大学による地域と連携した農学教育は、地域にとって高いニーズがあり、学生の実践的な「学び」を促す手法としても大きな成果をあげつつあります。今後は、これらの活動をわが国における農業・農学教育の新たな展開として議論を広げていきたいと思っています。

●参加された人数：137名（うち、教育関係者75人、一般の方15人、学生47人）